



もっとこう！通信

2026年
冬号

株式会社 東風社

■消費と創造のバランス■

こんにちは、幸本陽平です。

最近、ドラマや映画などに対する「考察」という言葉を目にする機会が増えました。物語をただ楽しむだけでなく、伏線の回収や制作者の意図、裏にあるメッセージまで徹底的に読み解いて、作者が提示する「正解」にたどり着きたい、すべてを把握しておきたい、という欲求が感じられます。

考察そのものは、作品を深く味わって楽しもうとする、純粋な行為です。ただ、考察とは基本的に「消費」です。もちろんこれも楽しいのですが、「消費」だけでなく、「創造」の趣味も増やすことをおすすめします。趣味において、映画鑑賞や読書は「消費」寄りです。一方で、料理や陶芸、DIYなどは自分で何かを生み出す「創造」です。旅行や運動は、その中間に位置するかもしれません。もちろん趣味なので好みがありますし、どちらが優れている、という話ではありません。ただ、考察などの消費ばかりで創造がまったくない生活をしていると、ある意味では他人に趣味をゆだねているようなもので、リスクがあります。それに対して、少しでも「創造」をしてみると、単に創造自体が楽しいだけでなく、「消費」についても見方が変わります。私は定期的に書籍を書いています。そうするとあらゆるエンタメに対して、「どうやって人をひきつけているのか」「なぜここでこのような演出や描写をしたのか」といった視点でも見るようになります。自分が「つくる」側になることで、書籍はもちろん、映画やテレビのバラエティでも、見方が変わってより楽しくなりました。

考察



これはビジネスで言われる「リーダーシップは全員にあったほうがいい」という話と似ています。実際には、全員がリーダーになる必要はありませんが、リーダーの視点を知っているフォロワーは、リーダーの考えや組織の動きを理解しやすくなります。趣味も同じで、少しでも作る側を経験すると、消費する際の楽しさもそれまで以上に増します。

創造といっても、必ずしもゼロから生み出す必要はありません。将棋の駒に違う動き方を加えてみる、それも立派な創造です。あなたの仕事や生活に、少しでも「創造」を加え、「消費」とバランスをとってみたいはいかがでしょうか。

■近況のお知らせ■

久しぶりに、旅行や来客、子の受験といった大イベントが何もないのんびりとしたお正月を過ごしました。退屈かと思いきや、年末に働きづめだったせいか、サブスク動画配信を見るなどしているとあっという間に休みが終わりました。我が家は複数の動画サブスクと契約しているのですが、数百～二千元くらいで世界中の映画・ドラマを見られるのは改めて考えるとスゴいことです。私の1,760円の書籍は動画配信サイトと比較して、それだけの価値があるだろうか？などと考えてしまいました。

【発行者 プロフィール】

名前 幸本 陽平 (こうもと ようへい)

生年月日 1979年5月30日

出身地 新潟県長岡市

近況 正月に気仙沼の日本酒を飲みました

経歴 :高級化粧品ブランドでマーケティング職を経験後、独立。マーケティングやロジカル思考、プレゼンテーションが得意。書籍5冊。中小企業診断士。

